

3 読解力と問題解決能力の向上

内容 読解力及び問題解決能力の育成に係る取組及び実践等
(授業改善の視点)



1 取組に係る本校児童の実態について

- ・全国学力学習状況調査、チャレンジテスト等の結果から、読解力の向上が大きな課題となっている。
- ・長文読解問題に対する苦手意識が強く、文章理解、問題の意味を把握することに課題がある。
- ・記述式の問題について、数年前から指導を続けることで何らかの記述をしようとする意欲は向上しているが、無回答の児童も少なくない。

2 目的（取組の意義）について

- ・読解力及び問題解決能力の向上を図るため、授業の精度をあげる。
- ・宿題、朝学習等、授業に付随する事柄の内容精選・充実を図ることにより、児童の能力や学習意欲の向上につなげる。

3 内容について

<読解力（国語+他教科）>

- ・国語：説明文単元等における授業内容の工夫
(主語や述語のつながりに着目する、指示語や接続語を正しく理解するような指導に取り組む など)
- ・読解力実態調査の実施
- ・朝学習「読解力プリント」の実施（週1回実施）
- ・読解力向上授業チェックシートの活用（各学期1回程度）

4 成果・課題・今後の方向性等

<成果>

- ・説明文単元の授業において、授業改善の様子が見受けられる
- ・読解力プリントの継続による児童の意欲向上
- ・文章に線や印をつける等、問題の解き方を実践する児童が増えてきた

<課題>

- ・授業内で読解力向上を図る取組が少ない
- ・読解力の向上に時間がかかるため、どの程度力が身についているか判断が難しい

<今後の方向性>

- ・チェックシート活用による授業改善
- ・読解力プリントの継続
→「わかる・できる・つかえる」体験の積み重ね